

ひまわり通信

日本共産党控室
市川市南八幡2-20-2
334-1111 (4592)
塩焼2-2-1-311
397-7836 (夜間)



日本共産党
市川市議員

廣 田 のりこ
ひろた 徳子



2018. 11. 4 NO.45

2019年度の予算要望を提出

10月16日、日本共産党市議団は、市政アンケートに寄せられた1,600通を超える多くの声をもとに、来年度の予算要望書を作成し、村越市長に提出しました。

各部ごとにまとめ全体で、159項目になりました。福祉部では特に介護に関する要望が多く、介護保険料の軽減、介護サービスの充実、介護施設で働く人の処遇改善など。また「いきいき健康教室」の開催回数が減っていることから元にもどしてほしいと要望しました。



は生活道路の改善です。特に行徳地域のふた掛け歩道の修が急がれます。また駅から少し離れると街灯が暗く危険だとの声も寄せられています。

待機児童の解消は、保育の質を落とすことなく早急に改善してほしいと要望し、子どもの医療費助成については、今年8月以降にかかった医療費について小学3年生まで所得の制限がなくりましたが、中学3年生まで拡大し、窓口負担をなくすよう求めました。

共産党千葉県委員会による2019年度政府予算交渉

10月22日、厚労省交渉に参加しました



国に対し介護、子育て支援、医療、障がい者支援、国民健康保険などについて、事前に提出した要望に対し、当日は担当係りから回答が話され、それに対し各地の切実な現実を訴えました。

私は、県内でもっとも待機児童が多い市川市の実態を話しました。ある保育園が配置基準を守らず9名の0歳児を常時2人の職員が保育士していたことで、保育士が園に対し増員を要望したものの改善されなかったため、7月末に7人の保育士が退職し、子どもたちは公立保育園への転園を余儀なくされました。私はこの例を示し、職員の処遇改善を進めるための国の施策を求めました。